

年 組 名前:

アフリカ支援活動40年



マリンに送るコメを袋に詰める生徒ら
|| 富士川・峡南教育会館

児童生徒連絡協議会と峡南教育四者会によるアフリカへの支援活動が今年、40年目を迎えた。各家庭で持ち寄ったコメを飢餓に苦しむ国に送る活動で、送ったコメは100トンを超えた。関係者は「多くの人の善意で続いてきた。少しでもアフリカの人々の助けになりたい」と話している。
〈深沢澤〉

児童生徒連絡協議など 届けたコメ100ト超



アフリカの食糧不足の救援などを目的に、1984年度に始めた。毎年1回、東京都内のボランティア団体を通じてマリンにコメを届けている。コメは、活動に賛同する小中学生らが1人当たり1合を持ち寄り、富士川町の峡南教育会館で袋詰めして都内の港から発送する。コメはマリノの農家などに配られる。記録が残る2005年度以降、計約115トンのコメを届けている。本年度は県内各地の小中学校24校から約6・8トンのコメが集まった。11月21日には南部、富士川、韮崎の3市町の児童生徒計15人が同会館で袋詰め作業をした。30分ずつになるよう計量して袋に詰め、教職員らと一緒にトラックの荷台に運び込んだ。コメは来年2月に届く見込み。
 南部中3年の遠藤夏奈さんは「たくさん学校のからコメが届いている様子を見て、ボランティアの力の大きさを感じた」と感想。峡南教育四者会の遠藤快征会長は「今後も続けられるよう、一人でも多くの人に協力をお願いしたい」と話していた。

(2023年12月2日付 山梨日日新聞16面)

問1 40年目を迎えた「アフリカへの支援活動」を行っている団体名を、答えてください。

.....

問2 この支援活動は、どのような活動ですか。

.....

問3 この支援活動の目的を答えてください。

.....

問4 本年度は県内の小中学校から、何トンのコメが集まり、何キロずつ袋詰めしましたか。

・.....トン集まりキロずつ袋詰め